

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第6回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	平成31年3月20日(水) 午後2時00分～午後4時00分
3. 開催場所	理事者控室
4. 出席者氏名	(委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 山守一徳 中北直子 川口正人 浅井榮二 伊藤あや (事務局) <small>危機管理特命理事</small> <small>課長</small> <small>広報広聴担当監</small> 鈴木政博 浅井嘉人 岡田久 勝田茂樹 松林良太郎
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 秘書広報課 広報広聴係 勝田 電話 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp

第6回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. あいさつ
2. SNS運用状況についてなど報告（報告）
3. 来年度の新たな取り組みについて（報告・意見）
4. 監視カメラ視察結果（報告）
5. 来年度の情報のかけ橋委員会（報告）
6. 来年度のスケジュール（報告）

1. あいさつ

委員長 今年度、最後の会議にお集まりいただきありがとうございます。2年間この会議に出席して委員の皆さまに率直な意見をうかがうことができとても良かったと思います。引き続き、市の情報発信について意見をお聞かせいただきますようお願いいたします。

事務局 報告があります。広報コンクールにおいて昨年の「広報まつさか10月号」がデザイン性、独自性に優れているという評価を受け見事、特選に選ばれました。委員の皆さんからの提言あつての結果と申します、ありがとうございました。

2. SNS 運用状況についてなど報告（報告）

事務局 SNS の運用状況について報告させていただきます。Facebook「ぎゅうっと松阪」のフォロワー数は1843人で前回より66人増えました。Twitterは1044人で前回より88人増えました。昨日、西野カナさんが公式に結婚の発表をされたその5分後にお祝いメッセージをツイートすることができたのでいろいろな方からお祝いメッセージを松阪市にもいただきました。好意的なご意見をいただきフォロワー数も順調に増えている状況です。こういった時事情報はツイートしていったほうが話題性をつくれて良いと思いました。Instagram についてもようやく1000人を超えることができました。また、松阪市観光協会とも同じハッシュタグを使って相互的に情報発信を行っています。来年度の目標値は3つの SNS 合計で5000人を目指していきたいと思っています。早めに目標値に到達することができれば6000人、7000人と上方修正します。

3. 来年度の新たな取り組みについて（報告・意見）

事務局 前回の会議の中でアイウエーブまつさかのバックボードを松阪工業高校の生徒にデザインしてもらい委員の皆さんにもご意見をいただきました。そのバックボードのお披露目として繊維デザイン科の生徒や、松阪高校放送部の生徒さんに月1、2回出演していただいていることから松阪高校放送部の生徒、今年度松阪市ブランド大使となったりかりこさんなど、加えて行政チャンネル名を公募し、松阪牛をプレゼントするなど、これらを一つにまとめてイベント化しよう

思っています。委員から、イベントで公開収録をしてはどうかというご意見も合わせて考えていきたいです。行政チャンネル名の公募をする時に松阪市内の小学生に募集するのか松阪市民全体で募集するのかなど誰に対して募集するのか、どの場所でPRブースを設置するかを検討していきたいです。去年の段階で一案として市内のショッピングセンターには了承を得ています。例えばイベントスペースもしくは商工会議所主催イベントなどのブースを出展するなどPRする場を考えていきたいです。時期は10月以降を想定しています。なお、その他として広報まつさか設置個所の追加としてぎゅーとらラブリ一大黒田店、ぎゅーとら下村店、オークワ松阪田村店、オークワ松阪長月店、コスモスプラスの5店で新たに設置していただけるようになりました。道の駅茶倉には既に設置済で、4月からは観光交流センターにも設置することになっています。皆さん以上について意見をお聞かせください。

委員 まつりの場だと人はたくさん集まるが埋もれてしまう可能性がある
ので、七夕まつり、鈴の音まつり、松阪木綿フェスティバルなど規模
が大きすぎないまつりのほうがいいのではないかと思います。ショ
ッピングセンターで行うのは良いと思います。公募方法については
あまり絞らず年齢問わずに市外、県外に広く募集したら松阪市のPR
になるのかもしれない。

委員 賑やかなまつり会場は楽しい雰囲気があつて良いですが、埋もれて
しまうという意見もあり、埋もれない場所を見つけて目立つように
すれば良いPRになると思います。天候のことを配慮するとショッピ
ングセンターが良いかと思っています。チャンネル名の公募に関しては
広く公募したほうが松阪市のことを知っていただけると思います。

委員 まちづくり協議会が主催する地区のまつりなどでPRできれば子ども
からお年寄りまで幅広く年齢層に知ってもらえると思います。

事務局 行政チャンネルをPRするポスターや看板を作製する予定なので、地
域に職員が出向いて啓発物品を配るなどは可能と思います。行政チ
ャンネル名の公募についてはいかがでしょうか。

委員 天候のことを考えるとお店で行うのが順当かと思っています。りかりこ
さんや高校生ダンス部など若い力で盛り上げるイベントにすればお
店としても相乗効果があるのではないのでしょうか。その中で松阪高
校の松阪をPRするCMコンテストの模様を流すのも良いと思います。

行政内で他のイベントとコラボレーションするのも集客力につながるのではないのでしょうか。

事務局 PR するだけではなく人を集める努力もしていかなければなりません。

委員 全高校生に知れ渡るくらいの長い期間を設けて周知することに意味があるのではないのでしょうか。その期間、行政チャンネル内でもたくさんPRできると思います。表彰式でも高校生が集まるイベントがあれば親世代も参加してもらえそうです。

委員 11月に行う松阪もめんフェスティバルで表彰式を盛り込めたら集客力も見込めるのではないのでしょうか。受賞作品以外にも学校単位で選出すれば表彰式に各学校が集まるので良いと思います。

委員 全国公募は悪くないですが、商標を絡んでいないかなど精査するのが受け手としては大変かと思います。松阪市内の小学校に限定するのも面白いのかもしれませんが。表彰式では親御さんがみえるので人が集まります。入選作品を貼り出すのも面白いと思います。

事務局 小学生から高校生までを対象とするのも良いかもしれません。

委員 小学生の部、中学生の部、高校生の部を設けるのも良いですね。

委員長 行政チャンネルの名前を公募するなら市民により知ってもらうためにも限定するべきだと思います。学校はもとより自治会でも周知して、ある程度の期間をもってPRするのが良いと思います。

事務局 いただいた意見をまとめると、イベントに関してはまつりだと天候に左右され流動的に人が流れてしまうため難しいのではないかと、ショッピングセンターなどの会場で開催するにしても行政チャンネルに限らず松阪市全体のPRになるよう人集めをしていかなければならないということでした。行政チャンネルの公募に関しては他の自治体がどのような形で行っているのかを含めて次回の委員会までに事務局側で検討していきたいです。

4. 監視カメラ視察結果（報告）

事務局 2月に丸亀市にある監視カメラ製造会社を見学してきました。得られた情報として監視カメラについての長所は以下が挙げられます。

まず高感度であることです。夜間、街灯や光のない場所でも水かさや人影を認識できるレベルでの撮影が可能です。有線ですと場所が限定され敷設工事にお金がかかるという2つの課題点がありますが、こちらの商品は無線運用で移設は30分ほどで可能です。ソーラー発電でなくともバッテリーの満充電で3日間の撮影でき、1日の撮影ですとソーラー発電の持ち運びがないのでかなりコンパクトになり軽自動車にも積める量となり、15分ほどで設営できるそうです。比較的安価で設置費込みで300万円程度です。ただし専用のWi-Fiルーターが必要になり月契約で1万円程度かかります。松阪市が活用できることとして台風接近時に特定の箇所に監視カメラを設置して災害対策本部の情報収集に役立てる、日常的には本庁舎屋上に設置し松坂城跡にカメラを向け桜の見頃を伝えるなど、文字放送の削減にもつながります。まつりやイベント情報を定点で撮影してYouTubeや行政チャンネルで配信するなどが主な活用方法だと思います。バッテリーは3年間の保証があります。日常的に本庁舎屋上で撮影するのであればソーラー発電を設置することになります。活用方法としては以上となります。活用の有無については次回以降で検討していきたいと思っています。

5. 来年度の情報のかけ橋委員会（報告）

事務局 委員の任期は2年間で2019年3月末までとなっていますが再任を妨げないことになっています。伊藤委員については来年度以降の辞退の申し出があり、後任の検討について推薦もありました。本人への意思の確認などもさせていただいた上で、来年度の伊藤委員の後任を検討したいと思います。

6. 来年度のスケジュール（報告）

事務局 ホームページの契約は平成34年1月末までになっているので来年度もそのまま継続します。広報デザインに関しては今回特選を受賞したことや昨年の皆さんからのご意見をもとに最大5年間ではありますが32年4月発行分までは今の業者のまま継続し、再来年度以降については来年度中に検討していきたいです。SNSに関してはFacebook、Twitter、YouTube、Instagramでご存知の通りです。LINEで情報発信をするLINE@（ラインアット）というアプリを取り入れている自治体もありますが、自治体総合アプリも検討している中で手を広げすぎて散漫にならないようにしなければと思っています。会議は概ね2カ月に1回を予定し、会議開催ごとに次の会議の

日程を調整するようにします。前半部分は広報PRの日程、行政チャンネル名称募集に関する内容です。来年度、第1回の日程は4月22日(月)10時からになりますのでよろしくお願いします。